

「育て！こほく愛～みんなで地域を盛り上げよう～」



松江市秋鹿公民館

## 1 湖北中学校区（秋鹿地区）の概要

### （1）湖北中学校区について

古江・秋鹿・大野3地区で構成されており、幼稚園・小学校・公民館は各地区にあるが、中学校は3地区で1か所のみである。湖北中学校は平成6年4月1日に、古江中・秋鹿中・大野中の3中学校が統合されて誕生した。今年度、全校生徒186名であるがボランティア活動へ積極的に参加する生徒が多く、延べ361人が参加している。

### （2）秋鹿地区について

秋鹿地区は島根半島のほぼ中央に位置し、南に宍道湖を望み北は日本海に面し、南北に5km余東西に3km余で面積が14.34平方kmのほぼ長方形の地形である。秋鹿町、岡本町、大垣町の3町に12の自治会があり、人口1,939人、755世帯、松江市の中心部まで車で15分程度に位置している。程よい田舎であるが、過疎化と少子高齢化が進み、中でも高齢化は松江市で5番目の高率に至っている。（平成30年1月現在39.8%）

## 2 事業の趣旨

この事業は、湖北中学校区グループ青少年健全育成協議会の事業として次のような目的で行っている。

- 1) 学校・家庭・地域が連携し青少年健全育成に一層の効果を上げるため、一同に集い研修協議する。
- 2) 「ふるさと」や地域への理解を深め、中学校卒業後も湖北地区でボランティアができる仕組みづくりをする。
- 3) リーダーとしての資質向上と子どもと大人の相互理解を深める。
- 4) 「ふるさと」や地域を見直す体験活動を通し「ふるさと」を愛し、生きる力を育み伸ばす。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
打合会		打合会		打合会		反省会			
子どもの健全育成研修会 (大人対象)					ジュニアリーダー研修会				
地域のボランティアへの参加・実践									
湖北ボランティアクラブの活動の推進									

（年間スケジュール）

この事業を体験した生徒たちが将来それぞれの地域のリーダーに育ってくれることを最終的な目的としている。

事業運営は秋鹿公民館だけではなく、古江公民館・大野公民館とも連携して行っており、毎年3館が交代で担当している。

## 3 具体的な取組内容

### （1）子どもの健全育成研修会

この研修会は各地区の幼小中PTA、青少協、保護司、少年補導員等、地域の青少年に関わる諸団体の67名が参加し、研修を行った。初めに、湖北地区内にある小・中4校の校長先生から、地域との関わり、学校での子どもたちの様子、活動について報告をしてもらった。その後、ワークショップを行い、LINE株式会社の講師を招き、「LINEのご紹介と子どもたちがインターネット利用する際の注意事項」という演題で青少年とネットに関する講話とカードを使った参加型のワークを体験した。

### （2）中学生の地域ボランティアへの

#### 参加・実践

湖北中学生は各地区の体育祭や夏休み期間中の乳幼児教室、秋の公民館まつりなど積極的に参加している。秋鹿地区では、あいかの里夏まつりで中学生屋台を企画し出店した。中学生に企画、出店準備、運営を任せ、自分たちの意見を尊重して活動できるようにした。また、昨年度のジュニアリーダー研修会で立案したイベントを中学生

が中心となり、青少協、公民館が協力して計画・実施した。

### (3) ジュニアリーダー研修会

この研修会は中学1・2年生を対象にしており、中学校PTA・教員、青少協、公民館が一緒に参加している。宿泊を伴う研修を行うことで中学生同士の繋がりが深まるのはもちろん、保護者や支援者とも研修や食事などの時間を一緒に過ごすことで、大人と子どもの垣根を越えて同じ地域のことを考えている者同士で話ができるように仕掛けている。昨年度のジュニアリーダー研修会で立案し実施したイベントについて学んだ後、地区毎の班に分かれ今年度もイベントを立案した。夜には湖北中学校のOBから銭太鼓を教わり体験をした。



(イベントの企画立案)



(集合写真)

今回、立案したイベントは各地区での実施に向けて、中学校、青少協、公民館が一緒になりサポートしていくことを確認した。

### (4) 湖北ボランティアクラブの活動の推進

湖北ボランティアクラブは、ボランティア活動を通して中学生の地域への思いが高まり、卒業してからも湖北地区でボランティアに参加したいという思いから、湖北中学校の学校支援地域コーディネーターが中心となり昨年度末から開始した新しい取り組みである。具体的には卒業する3年生へ登録をしてもらい、ボランティア活動への案内を卒業後も継続して行い参加を促す。

今年度、この湖北ボランティアクラブについて中学生や先生方により認知してもらうためにボランティアクラブのロゴマークを中学校で募集をした。審査の結果、タイトルにあるイラストに決定し、ロゴマークを使ったボランティアウェア(Tシャツ)を製作した。

## 4 評価と成果

### (1) 地域、中学生に関わる大人

- ・今の子どもたちの様子を知ることにより子どもへの理解を深め、コミュニケーションを取りやすくなった。
- ・中学生の地域でのボランティア参加を通して、大人も元気をもらい地域の活性化につながっている。

### (2) 中学生

- ・地域の大人と一緒にイベントを考えることで地域の良さやぬくもりを感じ、地域と中学生の繋がりが強くなった。
- ・中学生が地域から期待されていることがわかり自己肯定感が増した。
- ・年の近い先輩に銭太鼓を教わることで郷土芸能の良さを身近に感じ、湖北への感情が深まった。
- ・ロゴマークを中学生が考えることで、ボランティアクラブへの関心が高まった。

## 5 今後の課題と見通し

現在、ジュニアリーダー研修会でイベントの立案までは3地区が共有しているが、その後の計画・実施・反省を共有していない。そのため、今後は各地区で中学生の立案したイベントや中学生が関わった他の公民館でのイベントと一緒にふりかえり、その後の活動方針につなげていく必要がある。また、湖北ボランティアクラブの活動の充実を図り、その活動を通して地域活動に興味をもち、主体的に参加できる人材が育成できるように地域でサポートしていく必要がある。

また、公民館を中心に学校や地域との連携を深め、地域や学校を盛り上げ、活動していくために中学生が地域で活躍する大人(先輩)と交流する場や一緒に活動する場を仕掛けていく必要がある。さらに、若者の定住促進や、次世代のリーダー育成に繋げていく必要がある。

(文責：主事 佐藤 航)